『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』レポート資料を販売開始
～ビッグデータについて、その波及効果やポテンシャル領域、新ビジネス＆変革ビジネス領域、ニーズと課題、技術動向、トレンドと今後の予測、成功＆先進事例、投資対効果・メリットなど、ビッグデータ関連ビジネスの12のポイントに焦点を当てた調査レポート資料！～

==========
『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』　レポート資料を販売開始

～
ビッグデータについて、その波及効果やポテンシャル領域、新ビジネス＆変革ビジネス領域、ニーズと課題、技術動向、トレンドと今後の予測、成功＆先進事例、投資対効果・メリットなど、ビッグデータ関連ビジネスの12のポイントに焦点を当てた調査レポート資料！ ～

≫ 『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 資料詳細・販売ページ
http://planidea.jp/cc/psrl20120210
==========

マーケティング・リサーチ＆コンサルティングサービスを提供するPLANiDEA LLC.
（プラニディア合同会社）
は、ビジネス専門資料のオンライン販売サイト［SurveyReport］にて、株式会社 ESP総研による『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 の資料販売を開始いたしました。

≫ 『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』
http://planidea.jp/cc/psrl20120210

【資料概要】

「ビッグデータ」を種類別に11分野にセグメント化して整理、12のポイントに焦点を当てたヒアリング調査結果を分析！

当資料 『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 は、「ビッグデータ」関連ビジネスを積極的に展開している主要各社・団体への直接取材 （ヒアリング調査）を元に、ビッグデータを種類別に11分野にセグメント化して整理・分析すると共に、12のポイントに焦点を当てて多面的に情報収集・調査した結果を分析してまとめたレポート資料です。

（各章の概要）

I. 「ビッグデータ（BigData）」 ポテンシャル・プレイヤー リスト一覧 編

1) 「ビッグデータ（BigData）」 ポテンシャル・プレイヤー×マーケティング・マトリックス

（66社／部門）

II. ビッグデータ（種類）分類別×集計・分析 編

1） ビッグデータ（種類）分類別×集計・分析
2） 「ビッグデータ（BigData）」 種類調査 ＜合計 ： 299件を集計＞

1. 安心・安全分野
2. 一般ユーザー分野
3. 医療分野
4. 企業分野
5. 公共分野
6. 交通・物流分野
7. 化学分野
8. 産業・製造業分野
9. 商業分野
10. センサー分野
11. 共通分野

III. 調査結果 編 （12の設問について徹底調査）

1） 定義・範囲（N＝20）

2） 「ビッグデータ」
時流によってもたらされる、波及効果（影響）がある（ビジネス・ポテンシャルUP）領域
（N＝90）

3） 外部環境・背景（N＝50）

4） 勝組プレイヤー＆イニシアティブ（先導）・プレイヤー （N＝136）

5） 新ビジネス＆変革ビジネス領域 （N＝37）

6） （社会に与えるあるいはビッグデータがもたらす）インパクト（N＝28）

7） 課題・ニーズ（N＝37）

8） テクノロジー（技術）動向（N＝32）

9） トレンド・（これからの）予測（N＝34）

10） 成功＆先進事例（N＝5）

11） 注目理由（N＝13）

12） 投資対効果、メリット（N＝18）

【『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 のポイント】

■ ビッグデータ関連ビジネスを展開する主要各社・団体を対象に直接取材！
■ ビッグデータについて、12のポイントに焦点を当てて多面的に情報収集！
■ ビッグデータを種類別に11分野にセグメント化して整理・分析！
■ 外部環境・背景/インパクト/ポテンシャル・新ビジネス領域を解説！
■ 技術動向/成功＆先進事例/先導プレイヤーなどのテーマも！
■ トレンド・今後の予測/投資対効果に関する内容も収録！

【『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 調査概要】

［調査対象］
Web上にて 「ビッグデータ（BigData）」
と言及している事業者（プレイヤー）ならびに知見者（コンサルタント、アナリスト、研究者など）すべてにアプローチし、ヒアリングを行った。

［調査方法］
専門調査員による取材並びにヒアリング、アンケート、そしてメールによる追加的な情報収集、独自データベースの活用により調査・分析。

［調査＆レポート期間］
2011年12月25日 （調査＆ヒアリング開始）~2012年1月31日
まで深堀調査（取材、ヒアリング、アンケート）を実施。その後、レポーティング（集計＆分析）、2012年2月2日 に集計＆分析ならびにコメント化終了。

【『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 - はじめに - より】

2011年度下期以降、特にIT業界においては 「ビッグデータ（BigData）」
ブームが巻き起こっている。

近年、“情報爆発”
とも形容されるほど、企業を取り巻くデータ量が増大しているものの、めまぐるしく変わる市場環境に追従するためには、従来からある構造化データのみならず、ソーシャルメディア上のテキストデータなど、非構造化データも活用対象としなければならない。こうした
「大量データを収益向上に生かす取り組み」 として 「ビッグデータ」
がキーワードとなっているが、大量の情報を効率的に収集・蓄積し、部門の壁を超えて柔軟に共有・活用する、分析する、予測するなど、データを眠らせず、積極的に生かしていく取り組みが注目されている。特に、収集・蓄積、共有、分析といったビックデータ活用の在り方と意義が注目されている。

こうした 「ビッグデータ（BigData）」
ブームの背景には、ここ数年、利用者が急激に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれたGPS （全地球測位システム）
から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、日々の生活の中で生み出されるデータが、数年前とは比べ物にならないほど膨大かつ複雑になってきているといったことがある。所謂、情報爆発と呼ばれるように、日々多くのデータが生み出され、蓄積されている現在

、莫大な量のデータからこれまでにない情報が得られるのではないか？と期待されている。既に、ソーシャルメディアの大量のデータはマーケティング部門で利用され始めている上、大規模データをすばやく分散処理して管理できるHadoopも、一部の企業では実際に使われ始めている。

このように、ビジネス環境の激しい変化が続く中で、企業は生き残りをかけてさまざまな変革を実践している。ITの領域において、例えばそれは変化を先読みするための “ビッグデータ”
のビジネス活用であり、変化に即応する柔軟なIT基盤を目指すインフラのクラウド化といった動きにも表れている。

そういった状況の中で、IT業界大手企業のマーケティング部門ならびに製品開発、R&D部門から、大至急 「ビッグデータ（BigData）」 に関する市場調査 （基礎調査）
を実施して欲しい！といった要望を頂いた。

特に、安心・安全分野、一般ユーザー分野、医療分野、企業分野、公共分野、交通・物流分野、化学分野、産業・製造業分野、商業分野、センサー分野別に、まずはビッグデータの種類をセグメント化して整理して欲しい！また、IT知見者やITプレイヤー・キーマンから徹底して情報を収集して欲しい！といったリクエスト・要望を数多くの方々から頂いた。従ってESP総研では、上記の点を中心に短期間で大至急調査することとなった。

今回の調査では、上記のリクエストに基づいて、分野別にビッグデータの種類をセグメント化・整理することと同時に、IT知見者やITプレイヤー・キーマンから、
（1） 定義・範囲
（2）
「ビッグデータ」時流によってもたらされる、波及効果（影響）がある（ビジネス・ポテンシャルUP）領域
（3） 外部環境・背景
（4） 勝組プレイヤー＆イニシアティブ（先導）・プレイヤー
（5） 新ビジネス＆変革ビジネス領域
（6） （社会に与えるあるいはビッグデータがもたらす）インパクト
（7） 課題・ニーズ
（8） テクノロジー（技術）動向
（9） トレンド・（これからの）予測
（10） 成功＆先進事例
（11） 注目理由
（12） 投資対効果、メリット
などに焦点を当てて多面的に情報収集した。

この調査報告書が 「ビッグデータ（BigData）」
関連ビジネスに着眼する全ての皆様のマーケティング活動に貢献できることを心から切に望むものである。

【『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』 資料目次】

I. 「ビッグデータ（BigData）」 ポテンシャル・プレイヤー リスト一覧 編

1） 「ビッグデータ（BigData）」 ポテンシャル・プレイヤー×マーケティング・マトリックス（66社／部門）

II. ビッグデータ（種類）分類別×集計・分析 編
- N=299件 ： ビッグ・データの「データ」種類は？広義、狭義

※ 言及したプレイヤー対比表も添付

1） ビッグデータ（種類）分類別×集計・分析＜1＞＜2＞

2） 「ビッグデータ（BigData）」 種類調査 ＜合計 ： 299件を集計 ※ 広義、狭義含む＞

※ 『ビッグデータとは？』
について言及した企業および団体から得られた「データ」の種類を分類した。まずは調査結果を＜広義＞と＜狭義＞に分類し、さらに＜狭義＞については、大分類、小分類に分類した。

（1） 広義

（2） 狭義
1. 安心・安全分野
2. 一般ユーザー分野
3. 医療分野
4. 企業分野
5. 公共分野
6. 交通・物流分野
7. 化学分野
8. 産業・製造業分野
9. 商業分野
10. センサー分野
11. 共通分野

III. 調査結果 編 （12の設問について徹底調査）

1） 定義・範囲 （N＝20）

2-1） 「ビッグデータ」
時流によってもたらされる、波及効果（影響）がある（ビジネス・ポテンシャルUP）領域
集計・分析＜1＞＜2＞
2-2） 「ビッグデータ」
時流によってもたらされる、波及効果（影響）がある（ビジネス・ポテンシャルUP）領域
（N＝90）

3）外部環境・背景 （N＝50）

4-1） 勝組プレイヤー＆イニシアティブ（先導）・プレイヤー （N＝136）集計・分析＜1＞＜2＞
4-2） 勝組プレイヤー＆イニシアティブ（先導）・プレイヤー （N＝136）

5） 新ビジネス＆変革ビジネス領域 （N＝37）

6） （社会に与えるあるいはビッグデータがもたらす） インパクト （N＝28）

7)　課題・ニーズ　(N＝37)

8)　テクノロジー（技術）動向　(N＝32)

9)　トレンド・（これからの）予測　(N＝34)

10)　成功＆先進事例　(N＝5)

11)　注目理由　(N＝13)

12)　投資対効果、メリット　(N＝18)

【商品概要】

商品名 ： 『2012年「ビッグデータ（BigData）」に関する市場調査』
発 刊 ： 2012年2月
発 行 ： 株式会社 ESP総研
調 査 ： 株式会社 ESP総研
販 売 ： PLANiDEA SurveyReport運営事務局
判 型 ： A4判 99ページ
価 格 ：
報告書［印刷版］
99,750円　（本体価格 95,000円＋消費税 4,750円）
報告書［PDF版］
99,750円　（本体価格 95,000円＋消費税 4,750円）
報告書セット［PDF版＋印刷版］
149,625円　（本体価格 142,500円＋消費税 7,125円）

販売ページURL ：
http://planidea.jp/cc/psrl20120210

■ 関連サイトURL

PLANiDEA　[SurveyReport]
http://surveyreport.planidea.jp/

■ 本件に関するお問合せ先

プラニディア合同会社 広報担当
URL ： http://planidea.jp/contact.html
E-Mail ： info@planidea.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com